

# 検討会議に報告なく決定

パートナーシップ制度は、性的少数者のカップルを公的に認めるパートナーシップ制度の導入を見送ったことが波紋を呼んでいる。当初、市は導入に前向きで、当事者を交えた検討会議も設けていたが、同会議に報告のないまま導入見送りを決めていたことが先月、京都新聞社の取材で明らかになった。全国で同制度を導入する自治体が増える中、専門家は「当事者や市民の期待を裏切るだけでなく、行政の透明性の観点からも疑問」と指摘している。

## 性的少数者パートナーシップ制度 大津市導入見送り

パートナーシップ制度は、性的少数者のカップルを自治体が公認し、証明書を発行する制度。京都では京都市、亀岡市、長岡京市が導入している。滋賀では彦根市が先月12日に県内初導入を発表し、その関連取材で大津市の「見送り」が明らかになった。大津市は2018年12月、19年10月に計3回、当事者や支援者を交えた検討会議(5人)を開き、導入の準備を進めていた。会議のメンバーにもかわらぬ見送りを知らされていなかったという大久保晴さん(39)。「京都市左京区は『当事者の一人として、差別や偏見に悩んでいる大津市民に、少しでも生きやすいまちにしたい』と思って参加したのに」と肩を落す。同じく当事者で同会議メンバーの橋本竜一さん(31)。「栗東市にもよると、大津市は当事者へのヒアリング(19年7月)も行っており、橋本さんは複数の当事者を市に紹介したという。『ヒアリングに応じた人への制度導入されたらうれい』と涙ぐむ人もいた。説明のないままの導入見送りに納得がいかないという。『協力者に失礼だ』と憤る。

## 市「周知が先」／専門家「行政透明性に疑問」

越前市長の下、性的少数者への理解や支援促進を掲げる「おつれいんぼ宣言」を公表。しかし、20年1月の佐藤健司市長の就任後は検討会議を一度も開くことなく、制度導入よりも「性的少数者について周知することが先決」との方針を庁内で決めたという。同課は「性的少数者への社会的理解が進んでいない現状では、制度を導入しても形骸化する可能性がある」と、導入するかどうかは自治体が主体的に決めるもので、「新たな方針を当事者や市民に説明する必要がある」と考えたとしている。性的少数者に関する政策に詳しい鈴木秀洋・日本大准教授(地方自治法)は「市がいったん導入検討を公言した以上、当事者や市民に検討状況を伝え、説明する責任がある。『周知と理解促進は車の両輪で、制度導入によって理解が進む面もあるはず。市の対応は、当事者らの行政への期待を裏切ることも、市民の信頼を失うことにつながる』と指摘する。(杉原慶子)



性的少数者に寄り添う姿勢を表す「レインボーフラッグ」を掲げる大津市の行政窓口。2019年9月から掲出している(大津市浜大津4丁目)

### 吹田交番襲撃



飯森裕次郎被告(大阪府警提供)

大阪府吹田市の吹田青里山交番で2019年6月、警官を包丁で刺し拳銃を奪ったとして強盗殺人未遂などの罪に問われた無職飯森裕次郎被告(35)の裁判員裁判が2日、大阪地裁(渡部市郎裁判長)であり、検察側は懲役13年

### 業務用空調

三菱電機が、冷熱システム製作所(和歌山市)で2014~21年に製造したビルや工場、店舗など業務用の空調機器の一部で適切な検査を実施せずに出荷していたことが2日分かった。一部の検査装置が断線により正常に稼働していなかったため、該当製品は4万3388台に上る。このうち2430台は法令で検査が義務付けられており、同社が改めて全数を点検する方針だ。

パートナーシップ制度 2015年に東京都渋谷区と世田谷区が初めて導入し、全国74自治体(今年1月8日現在、渋谷区と民間団体の共同調査)に広がっている。自治体の証明書を発給し、公営住宅にカップルで入居を申し込んだり、公立病院でパートナーの病状の説明を受けたりと、婚姻関係がなければ認められない権利や行政サービスの一部が使えようになる。

### TOKYO 日記

1964年東京五輪のフェンシング会場となり2015年に解体された「早稲田大記念会堂」の跡地(東京都新宿区)で、早大の真新しいアリーナが威容を誇っている。その中に「早稲田スポーツミュージアム」がある。入口には当時の写真が飾られ、フルール団体4位になった同志社大名誉教授の田淵和彦さんの若かりし姿を見つけた。早大が輩出した五輪・パラリンピックメダリストの銘板もあり、28年アムステルダム五輪で日本初の金を獲得した陸上三段跳びの織田幹雄氏や64年メキシコ五輪サッカー銅の釜本邦茂氏ら48人の名があった。

### 大学スポーツ

の大学はなかった。早大は難民選手団の事前キャンプを受け入れ、64年に続いて有形無形のレガシー(遺産)が残る。人口や資本にとらまらず、大学スポーツ界でも「東京一極集中」の流れは加速している。フェンシング男子エベントで年貢(三菱電機)が同大出身者初の金メダルを取ったが、安穩とはしてられない。(国貞正志)



早稲田スポーツミュージアムに掲げられている説明板(東京都新宿区)

### 福知山マラソン 2年連続延期

福知山市は2日、11月23日に開催を予定していた第30回福知山マラソンを来年度に延期すると発表した。新型コロナウイルスの収束が見通せず、市としてワクチン接種の業務を最優先に進めるためとしている。福知山マラソンの開催見送りとは2年連続。代替の催しとして、昨年に続いてオンラインでのマラソン大会の開催を準備しており、内容は決まり次第発表する。大橋一夫市長は「ワクチン接種と医療提供体制の確保が最優先課題。楽しみにしていた皆様には申し訳ない」とコメントした。

### 待機違反者の氏名を初公表

厚労省7月入国の3人 新型コロナウイルスの水際対策を巡り、厚生労働省は2日、変異株流行国・地域からの入国者に誓約を要

	1回目(接種率%)	2回目(接種率%)
北海道	1,401,653 (84.6)	1,120,672 (67.7)
青森県	358,168 (85.9)	305,670 (73.3)
岩手県	349,924 (86.3)	277,547 (68.5)
宮城県	567,169 (89.3)	496,856 (78.2)
秋田県	313,034 (86.9)	286,683 (79.6)
山形県	325,602 (90.9)	296,211 (82.7)
福島県	507,134 (87.9)	443,471 (76.9)
茨城県	716,441 (85.3)	589,442 (70.2)
栃木県	481,100 (86.7)	388,688 (70.0)
群馬県	510,625 (88.6)	463,471 (80.4)
埼玉県	1,677,310 (86.6)	1,407,238 (72.7)
千葉県	1,464,808 (86.0)	1,255,128 (73.7)
東京都	2,617,479 (83.8)	2,316,844 (74.2)
神奈川県	1,979,249 (85.9)	1,791,934 (77.7)
新潟県	641,397 (89.6)	567,249 (79.2)
富山県	294,063 (87.8)	255,636 (76.3)
石川県	297,465 (89.3)	278,598 (83.6)
福井県	207,095 (89.1)	182,510 (78.5)
山梨県	217,431 (87.3)	199,100 (79.9)
長野県	576,977 (88.6)	513,536 (78.9)
岐阜県	549,907 (91.5)	521,343 (86.8)
静岡県	933,831 (85.9)	780,713 (71.8)
愛知県	1,664,432 (88.9)	1,502,540 (80.2)
岐阜県	463,379 (87.5)	408,531 (77.1)
三重県	333,267 (91.1)	304,404 (83.2)
滋賀県	616,445 (83.6)	561,491 (76.2)
京都府	1,942,984 (81.7)	1,662,718 (69.9)
大阪府	1,316,638 (84.1)	1,181,132 (75.4)
兵庫県	361,755 (86.8)	331,462 (79.5)
奈良県	269,297 (87.2)	253,378 (82.0)
和歌山県	155,119 (87.7)	140,313 (79.4)
徳島県	196,403 (85.6)	164,454 (71.7)
香川県	500,811 (88.5)	452,860 (80.0)
愛媛県	706,476 (86.5)	627,069 (76.8)
高知県	400,855 (86.2)	378,351 (81.4)
福岡県	3,333,267 (81.1)	3,044,404 (83.2)
佐賀県	616,445 (83.6)	561,491 (76.2)
熊本県	1,942,984 (81.7)	1,662,718 (69.9)
大分県	1,316,638 (84.1)	1,181,132 (75.4)
宮崎県	361,755 (86.8)	331,462 (79.5)
鹿児島県	269,297 (87.2)	253,378 (82.0)
沖縄県	155,119 (87.7)	140,313 (79.4)

### 65歳以上のワクチン接種状況

※1日時局、内閣官房のデータ。接種率は住民基本台帳(2020年)